

# 庁内調査概要と結果からの課題について

## 1 調査概要

### (1) 調査目的

区のこれまでのスポーツに関する取り組みとその評価を把握し、品川区スポーツ推進計画策定の基礎資料を得ることを目的として実施しました。

### (2) 調査対象と得られた事業数

#### ①調査対象

庁内の全ての部署

#### ②関係課から得られた事業数

関係課から得られた事業数は次の通りでした。

課室	事業数
スポーツ推進課	29
文化観光課	11
健康課	10
オリンピック・パラリンピック準備課	9
高齢者地域支援課	9
教育総合支援センター	5
子ども育成課	3
庶務課	2
地域活動課	1
福祉計画課	1
計	80

※関係する事業は、1事業としてまとめている場合もあります。

### (3) 調査内容

- ①事業名
- ②事業概要
- ③主な事業対象
- ④実施する上での課題
- ⑤今後の方向性
- ⑥する・みる・ささえるとの関連性

## 2 調査結果のまとめ

### (1) 行為別・対象別に分類した事業数

関係課から得られた事業数は 80 であり、行為別に事業数をみると、「スポーツを「する」ことについて」が 63 事業、「スポーツを「みる」ことについて」が 17 事業、「スポーツを「ささえる」ことについて」が 27 事業となっています（行為が重複している事業もあります）。

対象別に事業数をみると、「子ども」が 47 事業、「成人」が 45 事業、「高齢者」が 55 事業、「障害者」が 31 事業となっています（対象が重複している事業もあります）。

	子ども (47 事業)	成人 (45 事業)	高齢者 (55 事業)	障害者 (31 事業)
①スポーツを「する」ことについて(63 事業)	36	33	46	25
②スポーツを「みる」ことについて(17 事業)	16	16	15	14
③スポーツを「ささえる」ことについて(27 事業)	20	16	14	9

## (2) 庁内調査結果からの課題について

### ①スポーツを「する」ことについて

#### <スポーツや運動のための教室の開催について>

- 多くの参加者が集まり、満足度の高い教室にするために、内容や時期、場所を決めることが課題となっている。
- 場所を確保する上で、他団体等との調整が困難となっている。
- 継続的な周知が必要である。
- 実施場所によって参加者が限られてしまっている。
- 講師の高齢化や担い手不足が課題となっている。
- トレーニングマシンの老朽化が進んでいる。

#### <スポーツ大会・イベントの開催について>

- 競技人口の減少を抑えること、参加者を増やすことが課題となっている。
- 場所を確保する上で、他団体との調整が困難となっている。
- 大会、イベントの認知度を高める施策が必要である。

#### <地域スポーツクラブ等の運営について>

- 競技人口の減少を抑えることが課題となっている。
- 場所を確保する上で、他団体との調整が困難となっている。

#### <スポーツ施設の開放について>

- 土日夜間の利用状況が飽和状態となっている。
- 利用者の受益者負担の考え方、平日昼間の利用率向上、キャンセルの多い団体への措置などを検討する必要がある。

#### <学校体育施設等の開放について>

- 学校と地域の利用の調整が必要である。
- 各学校での利用や運用方法の統一化を図る必要がある。

#### <学校教育現場での身体を動かすことについて>

- 体育の事業においてテクニカルアドバイザーによる授業支援を行っているが、教員との役割分担等の調整が必要である。

#### <障害者が身体を動かすための教室・大会・イベントの開催について>

- 参加者数を増やすことが課題となっている。
- 参加者の安全面に配慮する必要がある。
- 単発で終わらせてしまうのではなく、継続的・定期的なものにしていくことが必要である。

②スポーツを「みる」ことについて

○事業が 2020 年度で終わってしまうため、今後どのように事業を継続していくのかが課題となっている。

③スポーツを「ささえる」ことについて

<スポーツクラブ・関連団体について>

○区内で活動する上での制度を明確化し周知する必要がある。

<指導者やスポーツ推進委員等の人材について>

○指導者育成のための講師の選定やスポーツ推進委員の減少を抑えることが必要である。

<表彰・助成金交付について>

○制度の周知を図る必要がある。